



東北大学

平成 25 年 3 月 6 日

報道機関 各位

東北大学大学院農学研究科

食・農・村の復興支援プロジェクト活動報告会 開催について

東北大学大学院農学研究科「食・農・村の復興支援プロジェクト」におきまして、このたび活動報告会を下記のとおり開催することになりました。震災を機に立ち上がったプロジェクトはまもなく 3 年目を迎え、その活動も多岐に広がりを見せております。その成果を発表するとともに、復興に向けた農学研究科の取組みを今一度ご紹介する機会ととらえております。

つきましては市民の皆様幅広く周知していただきますようお願いいたします。

日時 3月15日（金）報告会 午前10時～午後5時（9時30分より受付）

場所 仙台国際ホテル2F（平成の間）電話 022-268-1111
仙台市青葉区中央4-6-1（JR仙台駅より徒歩5分）

参加費 報告会（無料）

【申込方法】

氏名（団体名）、連絡先、懇親会出欠を記載し、メールまたは FAX にてお申し込み下さい。ホームページからも参加申込を受け付けています。（<http://www.nanohana-tohoku.com/>）

※お申込みが無い場合でも、当日ご参加いただけます。

【お申込、お問合せ先】

東北大学大学院農学研究科
食・農・村の復興支援プロジェクト事務局 担当：大串
Tel:022-717-8934 Fax:022-717-8929
info@nanohana-tohoku.com

東北大学は、災害復興新生研究機構を設立して、東日本大震災からの復興に向けて、「8つのプロジェクトと復興アクション100+」に取り組んでいます。食・農・村の復興支援プロジェクトは復興アクション100+の1つとして農学研究科の教職員が自主的に活動しています。

災害復興新生研究機構⇒ <http://www.idrrr.tohoku.ac.jp/>

食・農・村の復興支援プロジェクト⇒ <http://www.agri.tohoku.ac.jp/agri-revival>

（お問い合わせ先）

東北大学大学院農学研究科

食・農・村の復興支援プロジェクト事務局

担当：大串 電話：022-717-8934

食・農・村の復興支援プロジェクト活動報告会 開催概要

■日時 3月15日(金) 9:30 受付開始

■会場 仙台国際ホテル 宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1 TEL. 022-268-1111 (代表)
平成の間 <http://www.tobu-skh.co.jp/>

■参加費 無料

■プログラム

10:00 開会挨拶 山谷 知行 (東北大学大学院農学研究科長)
挨拶 水多 昭雄 (宮城県古川農業試験場長)
挨拶 菊地 利裕 (仙台市経済局農林部長)

10:15 『東北大学における復興支援の取り組み』 原 信義 (東北大学理事 震災復興推進担当)

○食・農・村の復興支援プロジェクトメンバー及び関係企業による活動 (午前の部)

10:25 『食・農・村の復興支援プロジェクトの概要』

中井 裕 (プロジェクトリーダー、東北大学大学院農学研究科 環境システム生物学 教授)

10:35 『セイヨウナタネ、カラシナにおける耐塩性系統の選抜と栽培試験』

北柴大泰 (東北大学大学院農学研究科 植物遺伝育種学 准教授)

10:45 『菜の花の放射線に関する調査』

丸谷 聡 (株式会社環境科学コーポレーション 東北事務所長)

10:55 『菜種油によるバイオディーゼル燃料化について』

千田 信良 (有限会社 千田清掃 代表取締役、おおさきバイオディーゼルエネルギー協議会 理事兼事務局長)

11:05 『～キリングループが取り組む～ 「復興応援 キリン絆プロジェクト」について』

栗原 邦夫 (キリン株式会社 CSV 推進部長 兼 キリン絆プロジェクトリーダー)

11:15 『農耕地土壌に対する津波影響の概要』

南條 正巳 (東北大学大学院農学研究科 土壌立地学 教授)

11:25 『2年目の津波被災農地の復旧支援』

伊藤 豊彰 (東北大学大学院農学研究科 栽培植物環境科学 准教授)

11:35 『牡鹿半島沿岸において地盤沈下が褐藻類アラメの群落に及ぼした影響』

青木 優和 (東北大学大学院農学研究科 水圏植物生態学 助教)

11:45 『震災後の女川湾におけるキタムラサキウニ・エゾアワビの分布とキタムラサキウニの個体群構造』

堀越 彩香 (東北大学大学院農学研究科 水圏植物生態学)

○東北大学、農業に求められる復興支援について (現場からの声) ①

11:55 『岩手県における菜の花大地復興プロジェクト』

山田 周生 (バイオディーゼルアドベンチャー)

12:05 質疑応答

12:15~13:30 昼食・休憩、BDF 車の展示見学 (ホテル駐車場)

※昼食のご用意はありません。

○食・農・村の復興支援プロジェクトメンバー及び関係企業による活動（午後の部）

- 13：30 『復興支援のための園芸作物におけるゲノム・イオノーム解析』
金山 喜則（東北大学大学院農学研究科 園芸学 准教授）
- 13：40 『農産物の放射能汚染対策；池月道の駅との連携』
齋藤 雅典（東北大学大学院農学研究科 栽培植物環境学 教授）
- 13：50 『カット野菜（スチーム野菜）と、その産地形成による農業復興』
遠藤 哲夫（株式会社 宮果 代表取締役社長）
- 14：00 『東京電力福島原発警戒区域で保護されているウシの利用と土地除染』
佐藤 衆介（東北大学大学院農学研究科 家畜福祉学 教授）
- 14：10 『リモートセンシングとGISによる農地の復興モニタリング』
米澤 千夏（東北大学大学院農学研究科 フィールド社会技術学 准教授）
- 14：20 『東北菜の花プロジェクト協議会の設立とその活動について』
鹿野 秀樹（東北菜の花プロジェクト協議会 会長）
- 14：30 『菜の花プロジェクトへの期待～プリザーブドフラワーへの道～』
土谷 智明（株式会社日比谷花壇 東日本事業統括部）
- 14：40 『仙台青葉ロータリークラブにおける復興支援について』
大滝 精一（仙台青葉ロータリークラブ）

○東北大学、農業に求められる復興支援について（現場からの声）②

- 14：50 三木 浩（サステナジー株式会社）
- 15：00 山村 友幸（気仙広域環境未来都市コーディネーター）
- 15：10 『「農業×医療」の可能性～北原国際病院におけるファームプロジェクトの紹介～』
浜崎 千賀（医療法人社団 KNI 北原国際病院 経営企画室 室長）
- 15：20 質疑
- 15：30～15：40 休憩

○東北スマートアグリカルチャー研究会による活動報告

- 15：40 『東北スマートアグリカルチャー研究会について』
菊池 務（東北大学大学院工学研究科 情報知能システム研究センター 特任教授）
- 15：50 渋谷 義博（トライポッドワークス株式会社）
- 16：00 鎌田 玲央奈（株式会社エスジェーシー システム部）
- 16：10 『あたらしい農業を目指して～遠隔監視センサークラウドシステム～』
岩佐 浩（株式会社アイエスピー東北）
- 16：20 『あたらしい農業を目指して～新しいビジネスモデル～』
女川 源（有限会社アグリフューチャー 代表取締役）
- 16：30 『今後の展開～仙台市人材育成、東北大学試験圃場への展開～』
大村 道明（東北大学大学院農学研究科 フィールド社会技術学 助教）
- 16：40 質疑
- 16：50 閉会挨拶 中井 裕